

園芸施設共済に加入された方の 声をお届けします!



わずか7年で2回の全壊!

令和2年3月末の雪害により9連棟のハウスが全壊しました。平成26年にも雪害で全壊しており、**わずか7年で2回の全壊**となりましたが、**共済金のおかげで本当に助かりました**。最近の気象は不安なところが多く、共済の加入は大事だと思います。

残りのハウス1棟も、9月から復旧費用、撤去費用に加え付保割合追加特約を付けました。掛金負担が厳しいかとも思いましたが10万円以下の小損害不填補を付けることで軽減され加入しやすくなりました。

また、収入保険にも加入し経営の安定を図っています。



長野県 北澤さん

未被覆ハウスが倒壊。共済金が農業継続の支えに



秋田県 齊藤さん

トマト栽培用と育苗用で合わせて8棟のハウスを利用しています。例年、冬場は損害防止のため被覆を外していますが、**令和2年12月から令和3年1月にかけての記録的な大雪で180センチほど積もり、全て倒壊してしまいました**。

3棟が全損となりましたが、**共済金を再建費用に充てることができたため、農業を継続する意欲に繋がりました**。

これまで補強をしていませんでしたが、この経験を機に、支柱を立てるなどして雪に備える予定です。

水稲の育苗ハウスの強風被害に備えて

春の強風が心配で園芸施設共済に加入しています。**過去に何度か、春の強風で被覆材が破れる被害を受けた際、共済金を被覆材の張り替え費用に充てることができ、非常に助かりました**。

ハウスの被覆期間は、水稲育苗作業に使用する2か月間ですが、被害に遭った時のためだと思えば、掛金も負担には感じませんし、**被覆期間が短い分、通年被覆よりも掛金が安いので加入しやすい**と思います。

近年は、異常気象でいつどんな被害に遭うかわかりません。もしものために、園芸施設共済に加入することをお勧めします。



新潟県 平山さん

園芸施設共済に加入された方の 声をお届けします!



「10割補償」でより安心を

ビニールの小さな被害であっても、補修にはそれなりの費用がかかります。そのため、損害額が1万円を超える被害から補償されることは助かります。

また、令和元年の台風でハウスが半壊した際には、共済金や交付金を活用して何とか再建することができました。しかし、今後どのような災害が発生するかわからず、その都度、交付金が出るとも限りません。

安心して農業を続けていくためにも、「付保割合追加特約」・「復旧費用特約」による10割補償を選択しました。



静岡県 望月さん

ビニールだけの被害でも、特約で安心!



滋賀県 七里さん

NOSA I 滋賀の広報紙で令和2年9月の制度拡充を知り、**小損害不てん補1万円特約を付加しました**。その後すぐに強風によって被覆材に被害を受けましたが、共済金を受け取ることができました。

小損害不てん補1万円特約により、**ビニールだけの被害でも共済金を受け取れるので、何かあった時に助けてもらえるという安心感が、より一層強くなりました**。

園芸施設共済に加入して以降、初めての被害でしたが、万が一に備えることが重要だと改めて感じています。

附帯施設も補償対象なので安心です

令和2年7月豪雨で附帯施設（暖房機）が2日間浸水被害に遭いましたが、共済金で再建することができ、本当に助かりました。

最近、想定外の災害が発生しているため、**ハウス本体だけでなく附帯施設の補償も必ず加入しています**。制度改正後は、**復旧費用特約と小損害不てん補1万円特約を付け補償内容が充実し、安心感が増しました**。

洪水が発生しやすい地域なので不安はありますが、安心して営農を続けるために、これからも園芸施設共済に加入していきたいと思えます。



福岡県 中園さん

その他の声はコチラから 



検索

園芸施設共済 声

農林水産省